



1世帯あたりの消費支出は減少 くらしに打撃与える消費税増税は **STOP!**

消費税増税で負担が増えるのは

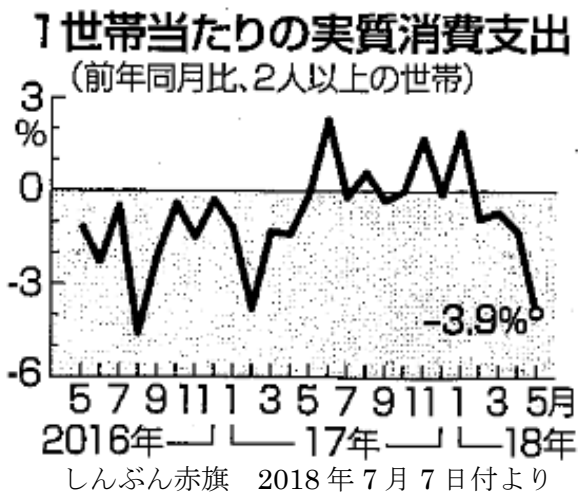
総務省が7月6日に発表した5月の家計調査によると、1世帯(2人以上)当たりの消費支出は前年同月と比べて3.9%減少しています。家計の消費が落ち込むなか、消費税増税による、さらなる負担を国民に強いることは許されません。

政府は2019年10月に消費税を10%に引き上げようとしており、閣議決定した「骨太の方針」の中でも10%への引き上げを明記しています。しかし、賃金も上がらず、物価も上昇しているなか

かでの増税は、暮らしや経済に悪影響をあたえます。

2014年に消費税を5%から8%に増税するさい、安倍首相は「全額を社会保障に使う」と明言していました。しかし昨年の衆議院議員選挙のさいには「5分の1は社会保障に、残りは借金の返済に充てる」としました。これではまるっきり公約違反ではありませんか。

政府は、「複数税率」の導入や増税の一部を「子育て」などに回すことを引き換えにして増税を狙っていますが、暮らしの安定は消費税増税中止にこそあるのではないのでしょうか。



税金は応能負担 大企業・大金持ちこそ増税を!

消費税は3%→5%→8%と増税されてきましたが、社会保障制度は切り捨てられる一方です。増税と併せて私たち庶民のくらしを圧迫しています。消費税増税では社会保障が良くなりません。法人税を28年間で累計280兆円も減税し、消費税収はその穴埋めにされているからです。

「能力に応じて税金を集める」という憲法の理念に基づき、大儲けしている大企業や、年収1億円以上の富裕層や大企業に応分の税負担を求めるべきです。

○複数税率 知っていますか

消費税増税とともに新たに導入をしようとしている複数税率。増税後も食品など8%に据え置くというもので、ニュースなどで耳にしたことがあるかもしれません。しかしその判断基準は複雑です。みなさん、違いが分かりますか?
問題 下の4つの商品のうち1つだけ消費税10%のものがああります。どれでしょう。こたえはチラシ右下です。

・スナック菓子 ・サプリメント ・ビール ・ノンアルコールビール

消費税廃止各界連絡会

東京都豊島区目白2-36-13
電話 03-3987-4391